

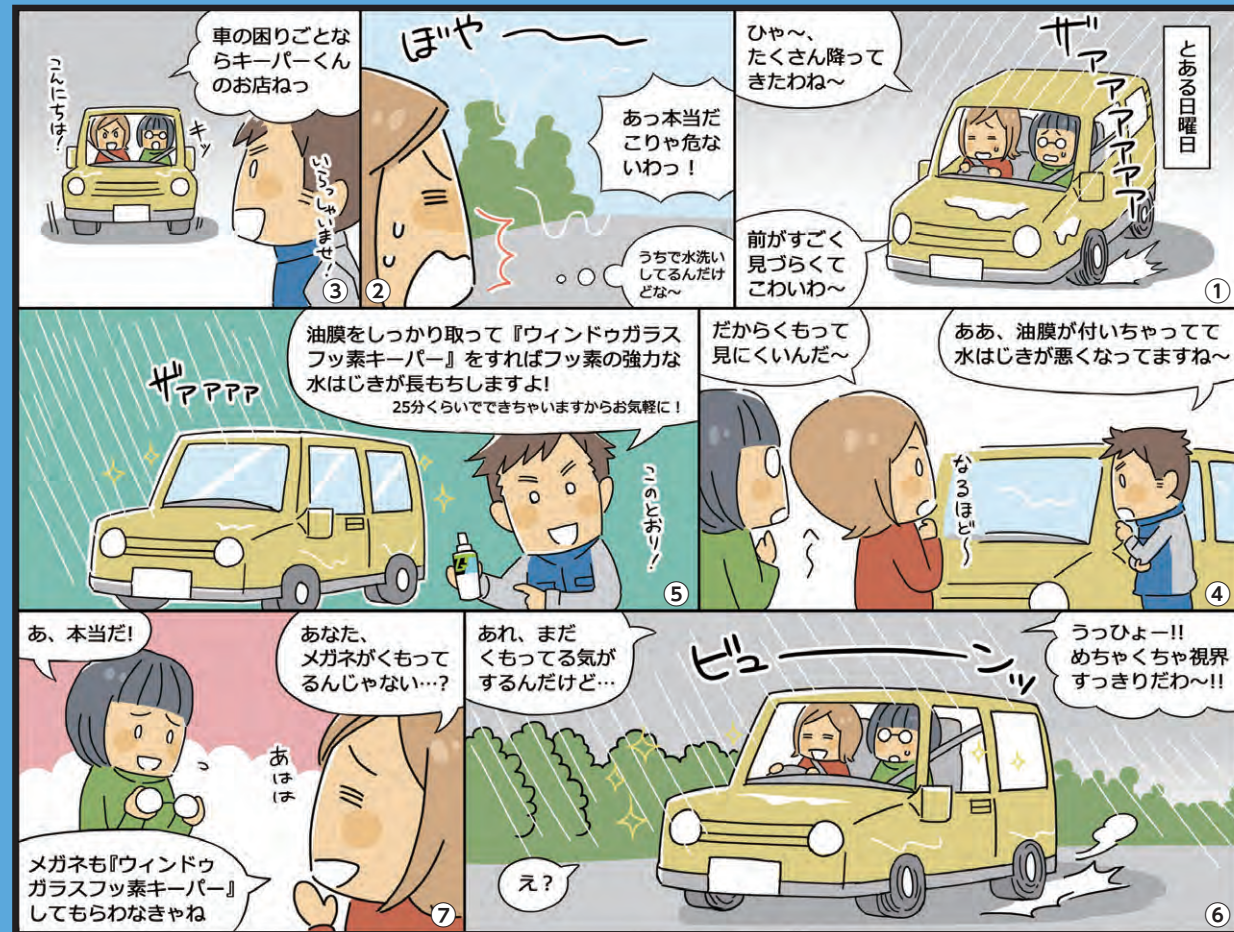


アイコさん(31歳・主婦)
車種:軽自動車 乗車座:3ヶ月
洗車:たま〜に自分で洗車 性格:スポラ、のーてんき

雨の日のフロントガラス、 視界が悪くて運転がこわい〜!!

雨の日、フロントガラスがくもって見にくいことはありませんか？
それは窓ガラスに油膜がついて水はじきが悪くなっているから。
「ウィンドウガラスフッ素キーパー」なら、視界すっきり！
安心してドライブができます。

アイコさんの クリスタル キーパー はじめて物語



ボディだけでなく、窓ガラスにもコーティングを！油膜をきちんと取って、「ウィンドウガラスフッ素キーパー」をすれば視界すっきり！3ヶ月〜半年に1回、3,000円前後(フロントのみ)でできるからお気軽にできます！雨の日の運転が楽しくなっちゃいますよ〜！

Keeper
COATING FOR SMART CAR LIFE

キレイに乗る。て、
かっこいい!!



一番人気、イチオシ

クリスタルキーパー CRYSTAL Keeper

透き通るガラス被膜で1年に1回、
新車に戻る新しいカーライフの形。

1年間 洗車だけ、ノーメンテナンス。

時間: 2時間(洗車時間含む)

Keeper だけの特殊な2層構造で、ボディを守ります。
「深いツヤ」「汚れにくさ」でとても人気があります。



窓ガラスの「視界スッキリ」 フッ素 ガラスコーティング

抜群の撥水効果で雨の日の視界確保!

油膜もキレイに取れて
めちゃうくちゃ
視界すっきり

耐久 3〜6ヶ月 時間: 25分〜



Special Interview 小林可夢偉が語るクルマとこだわり

ポーツの人気があるのではないは関係ないとして、産業の一部としてモータースポーツが認識されていないことに危機感を覚えているんです。エンジンの技術開発は特に、ドイツとかヨーロッパのクルマと比べたら正直なところ、遅れていると思います。もう10年くらい前から遅れはじめているんじゃないかな。もしヨーロッパのエンジンが一般のクルマに反映される時代がきたら、日本のクルマと差がついてしまう。そこに危機感を感じるんですよ。エンジンのパワーが出るのと燃費もセーブできますから。でも日本人は職人気質なんで、良いエンジン作りに絶対向いているんです。だからこそ、自動車会社にモータースポーツに対する意識を変えてもらわないといけないんです。それによって、モータースポーツを観に行こうかなという人が増えると、ファミリーカーだけじゃなくて、カッコいいクルマ、楽しいクルマが人気になってくるんですよ。そうすると自動車会社もカッコいいクルマ、

楽しいクルマを作る。それが売れば、もっとモータースポーツに力を入れようということになる。こんなふうの良い連鎖が生まれ、日本の経済が良くなると思うんです。

人生は、

噛みごたえがある方が楽しい

スーパーフォーミュラはサーキットの特性も分からないし、選手の名前さえもほぼ分からない状態でのスタートでした。バタバタと戦って、自分が何してるかまだ分かってません(笑)。F1はメーカー同士の戦い、クルマの性能の戦いです。もっとも強いチームに入らないと勝てない。スーパーフォーミュラは、ワンメイク、エンジンはトヨタとホンダ2種だけだから、ドライバーの戦いです。そうそうたるドライバーが参戦している中、まずはコースをしっかりと頭と身体に叩き込まないといけません。

F1をやめると決めるとき、葛藤はそんなになかったんです。資金がないやらずに遊んどこかなと思っただけ。そうはいかない(笑)。あまり、ネガティブに考えません。だって人生常にスランプですよ、僕なんか。でも人生って何がいいかも分からへんし、とにかく一生懸命頑張ることが一番楽しいんですよ。あるときね

面白いと思うことって、 チャレンジしたい

僕はモータースポーツで稼ごうとするのは間違ってると思ってるので、いつかビジネスを立ち上げて、趣味としてレースをやるうかなって思っています。9歳からレースやって、60歳までモータースポーツのレーサーでいられないので。



ろ考え事して、バイクで汗を乾かしながら帰ると最高に気持ちいい。それから蕎麦打ちもやったし、船舶1級も取ったので、今度は空にしようかな。パラグライダーに大きな扇風機みたいなプロペラ付きエンジンを付けて海上を飛ぶモーターパラグライダーの資格も取るうかなって思ってます。それから、畑もやってみたい！田舎のめし屋に入ったらおばちゃん探れたたてのキュウリをくれたんですよ。そのみずみずしさとうまさにビックリして。アメリカのオーガニックスーパーにおいてあるキュウリってピーンとまっすぐなんです。絶対ちやうやうって思うんですよ。絶対に美味い野菜を作る人たちの努力を一度味わってみたいなんです。面白いと思うこと、いろんなことをやって、いろんなビジネスをして人生を楽しみながら、若いレーサーと組んで育てながらレースをするのもいいなって思っています。